

技術力の向上と水平展開



研修事業の推進図る

(社)福島県電設業協会

会長 松崎 勉

明けましておめでとう
ございます。
昨年は、何かと暗い話
題の多い年だったように

思います。今年こそ明る
い一年であって欲しいと
心より願う次第です。本
年もどうぞ宜しくお願
い致します。

一方、各地域、各企業
各々に目を移すと、依然
として取り巻く環境は厳
しい状況が続いておりま
す。競争の激化、価格の
下落には歯止めが掛から
ない状況です。企業体質
への変換が急務だと思
います。そのためにも、こ
れまで当局の温かいご支
援を頂いて、光ケーブル
、太陽光発電、トンネル
防災設備点検等の新分
野に進出する機会と実績
を積み重ねることが出来
ましたが、今後も引き続
き技術力を高め、燃料電
池等を始めとする新分野
開拓を積極的に模索して
参りたいと思えます。

さらに、これから大
きな需要が見込まれるリ
フォーム関連にも目を向
け、省エネの手法やセキ
ユリテ関連の知識を深

め、様々な顧客ニーズに
応え、ご満足のご提案
ができるよう会員企業と
一丸となって努力して参
りたいと思えます。

念を持っていらっしゃるな
どころがありました。一
部の企業のようにデフレ
の環境下にあっても、繼
続して空前の好業績をあ
げている企業があり、新
聞報道によりますと、そ
の数も徐々に増えている
ようです。

最後に、中越地震で隣
県の新潟県が大きな被害
を受けたことは、記憶に
新しいところです。本格
的な冬を迎え被災された
方のご苦労は、いかほど
であろうと拝察し、一刻
も早い復興を心より祈
りいたします。当協会も
技術力の向上と健全な企
業経営と同時に地域に貢
献する企業集団として、
その役割を果たしてゆか
なければならぬと気持ち
を新たにしているところ
であり、関連行政機関
等にご指導を仰ぎなが
ら、災害時には、当協会
が貢献できることは何か
真剣に考えて参りたいと
思います。

致します。
当協会では、従来に引
き続き、技術向上を目指
して工事施工体験発表
会、技術講習会、上級者
研修会、現場研修会を美
施致しました。いずれの
講習会でも回を重ねるこ
とにより、会員企業の取
り組み、発表の内容に進
展が見られ、継続するこ
との重要性を改めて認識
致しました。
常日頃申し述べている

ように、地元企業として
この厳しい時代を生き抜
くためには、何よりも技
術力の向上が大事である
と当協会は考えており、

新分野で技術提案

様々な顧客ニーズに対応

健全な企業経営

実照広告

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

「ムシベール」
虫を寄せにくい光の
「ムシベール」
光に誘われて虫だらけの
「一般照明器具」

電 設 新 聞

発行所
社)福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設業協会館)
TEL (024)533-6226
FAX (024)533-6235
編集印刷有福島タイムズ社
福島市御山宇井戸上64-5

発行所
社)福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設業協会館)
TEL (024)533-6226
FAX (024)533-6235
編集印刷有福島タイムズ社
福島市御山宇井戸上64-5

TOSHIBA

明るく、
スリムで、
長寿命。

東芝薄型照明器具
ネオスリムV
東芝ライテック株式会社
郡山営業所 TEL (024)922-5511

謹賀新年

本年も相変わらぬご指導
ご支援をお願いいたします
社団法人 福島県電設業協会

National 実照広告

人の目には
自然な明るさのまま、
虫が集まりやすい
光の波長だけをカット。

低誘虫照明器具 ムシベール

虫を寄せにくくする。来た虫は捕獲する。
低誘虫照明システム ムシベールシリーズ

商品に関するお問い合わせは、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731まで。
National 松下電工、NAIS 松下電工は National ブランドに統一します。 松下電工

県有施設を整備

【はじめに】近年、地球規模でのエネルギー消費増大による地球温暖化、気候変動、酸性雨等の環境破壊が問題となっており、数値目標を設定するなどの環境負荷低減への積極的な取り組みがなされてきています。これら地球環境問題の中で、大気中で赤外線吸収し大気温度を上昇させる温室効果(地球温暖化)による環境破壊が著しく進んでいることが

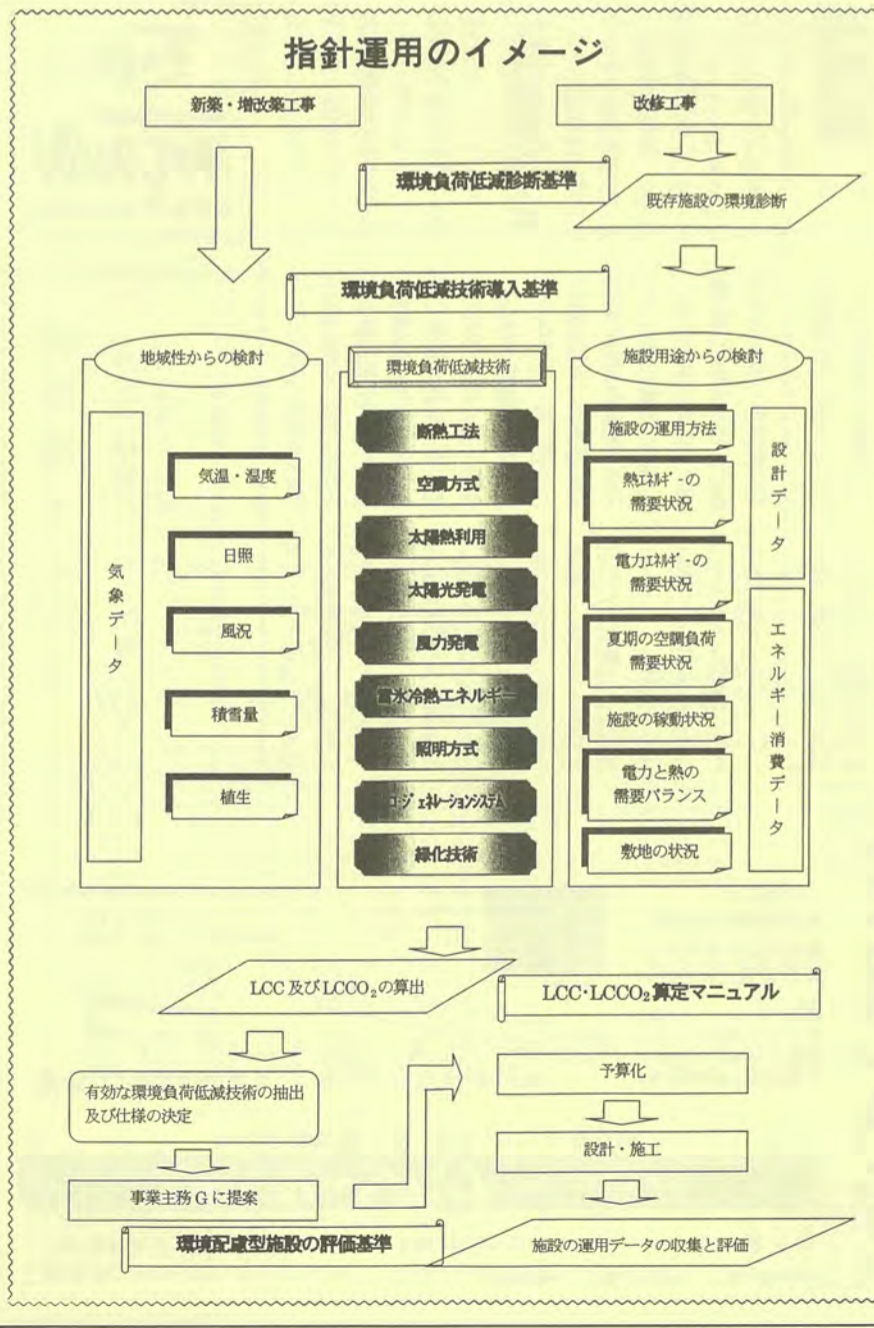
【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【はじめに】近年、地球規模でのエネルギー消費増大による地球温暖化、気候変動、酸性雨等の環境破壊が問題となっており、数値目標を設定するなどの環境負荷低減への積極的な取り組みがなされてきています。これら地球環境問題の中で、大気中で赤外線吸収し大気温度を上昇させる温室効果(地球温暖化)による環境破壊が著しく進んでいることが

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々



推進への取り組み

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々



福島県知事 佐藤 栄佐久

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

【県有施設環境対策事業について】希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。また、本県の建築行政の推進につきましては、日々

環境配慮型計画・設計指針

実効性とわかりやすさ

ライフサイクルで検討

【環境配慮型計画・設計指針の骨子】本県が施設を整備するに

【環境配慮型計画・設計指針の骨子】本県が施設を整備するに

支部長の年頭所感

強い信頼関係を維持

福島支部長 大室 功

新年、明けましておめでとうございます。
平素は、福島支部の運営にご理解とご協力をいただいております。誠にありがとうございます。



昨年、輸出産業など一部産業で回復の兆しが見られたと報じられましたが、地域間・産業間の格差は大きいようで、地方の建設業は、まだまだ出口が見えない暗いトンネルの中にあるようです。

公共事業の削減、民間設備投資の低迷により、事業量はピーク時から半減し、少なくなったパイを手にするべく、苛烈な受注競争が繰り広げられた結果、コスト削減とは別の全く根拠がない安値

受注が見られます。これが波及したことで業界全体の倫理が歪み、各社の経営環境は悪化の一途をたどっております。

共に助け合いながら業界の倫理を高め、施工実績を積み上げることで、信用を高めてきた我々協会員にとって、これは極めて深刻な問題であります。

環境の変化に対応

郡山支部長 渡 辺 道 雄



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年を迎えられましたことを心から

お慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、国内の経済情勢は確実に回復していると政府は発表しております。

しかし、中小企業や地方にまでは景気の回復の影響が及んでいないというのが実態であります。また、地方では三位一体改革により、税源移譲

希望の持てる社会へ

白河支部長 石 川 巨



明けまして御芽出度うございます。新年を迎え、心新たに次の事を日々心掛けて行きたいと思

います。今、私達の置かれている現況は、まさに内憂、外患の渦中にあります。

この様な現況から抜け出す為に、私達一人ひとりが希望の持てる社会へと再構築する必要があります。

のメリットより交付税削減の影響が大きく、地方の切り捨てにつながりかねない状況にあり、なお一層の議論を深めていただく必要があります。県内においては、倒産件数が減少傾向にある一方で、大型倒産も発生しており、地域産業の脆弱性が指摘されております。

環境の変化に柔軟に対応し、経営の合理化とさらなる技術力の向上、安全対策の重要性を認識することが、この厳しい環境を乗り切る大きな要因

です。まず、礼儀に欠ける社会、礼を失った社会と個人を原点にかえり修正して行く事。礼には礼儀としての意と社会の秩序を

言われてはおりますが、地域に根ざした電気設備業の将来を考えれば、公正な競争のルールを尊重し、また、会員が助け合いながら進んでいくことが重要です。新しい年に

おきましても、支部会員が活躍できるよう、親睦を深め会員相互の連携を図って、強い信頼関係を維持しながら活動して参りたいと思

います。本年もどうぞよろしくお願

保つ為の生活規範の総称との意味があります。勿論、内には道徳心が伴っていないければなりません。道徳心が欠けたものは礼ではありません。そして、民主主義の基本原則を逸脱しない様、民主主義を利己主義とはき違えない事

改善の道を模索

いわき支部長 坂 本 幹 夫



まず、礼儀に欠ける社会、礼を失った社会と個人を原点にかえり修正して行く事。礼には礼儀としての意と社会の秩序を

と考えます。当郡山支部としまして、昨年は一社が退会し、今年度は二社が新規入会を希望して

おります。厳しい環境ではありませんが、新規入会者に対しても、将来希望が持てるよう支部会員一丸となつて鋭意努力して参りたいと考えて

心豊かな業界を実現

相双支部長 八 卷 正 隆



新しい希望の年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、我が業界は、経済の自由化、国際化に伴う技術革新のスピード化を含む価格破壊の進行等

によって、極めて厳しい状況下が予想され、生き残りをかけた経営努力と営業力を実践して、先の見えない景気への不安感

に挑戦をしている現況であります。

当相双地区においても、公共事業等の全般的な削減、雇用情勢の悪化等、極めて深刻に推移している現実を踏まえ、経

営者と社員は、歩調を合わせて社内改革に真剣な姿勢で取り組みをしておるところでございます。

また、以前においては過疎地域に近いところと言われながらも地域組合、協会等での事業計画、立案、今後予想されるエネルギーの源の数々、太陽光発電や風力を活かした設備等への積極的な研修への参画を始

め、環境に配慮した街づくりや、高度な技術に対応できる技術者の育成、その他数々の継続的に繰り広げている諸事業に対して、各社とも、勇気と情熱、英知を結集して、日夜努力研鑽に励み邁進しているところでござ

した人達が、会社を背負うと言つ事も訴えて行きたい。時間はかかるかも知れないが、一つ一つ積み重ね、盤石のものにして行きたい。

今年もどうぞ宜しくお願

我が支部も地域社会に貢献をしながら、努力を積み重ねて、心豊かな業界を実現するために、会員が一致団結を更に図る所存でございますので、限らない御指導、御鞭撻をお願いいたし

存じます。

台風、地震と隣県では災害が多く発生致しました。会津支部は新潟県と隣接していることから、改めて災害時の対応が問われております。そんな状況下にあつて当支部は、国土交通省阿賀川河川工事事務所、会津若松地方水道水供給事業団、会津若松市と災害時の支援協定を締結しておりますが、一度も発動される事なく昨年一年間が過ぎました事、会員一同安堵している状況です。

豊かな暮らしを提供

会津支部長 佐 藤 脩 一



明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、つつがなく新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。また、当支部の運営につきまして格別の御厚情御協力を賜り、公共民間とも工事が下降している中、一社の退会者もなく新年を迎えられた事に、支部を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は浅間山の噴火に始まり、新潟県の見附三条市の集中豪雨、

の兆しと言つものの、潤いはいくつかの企業に留まり、目下、暗中模索路線を鋭意たどっていると言つても過言ではないと思

今年もどうぞ宜しくお願

設備3団体の連携強化

リニューアルに対応



3団体の役員が顔をそろえた懇談会

県設備設計事務所協会 (株)県空調衛生工事業協会 (木下庄市会長)、当協会、(有賀敬四郎会長)の設備

三団体は、十二月十日に福島市で懇談会を開催し、建築設備の重要性を啓蒙することや町村における分離発注の促進などについて意見を交換した。

懇談に先立ち各会長が挨拶に立った。有賀会長は「三団体が合同で動くことにより、設備の総合力を発信することができる。従来の新設型の事業量は減少しているが、リニューアル事業はこれから分野。新たな提案をしながら仕事を一つ一つ積み重ねてはならない。力を合わせて三団体がともに発展する道を模索したい」と述べた。

「業界を取り巻く環境は非常に厳しい。公共事業の減少と民間事業の減少が重なるとい状況に加えて、価格が下落するという今までの厳しさとは違う。いかにして生き残りを図っていくかが、今後の重要な課題だ。こうした中で、明るい話題としては、県に対して

以前より陳情、要望していた設備課の設置が、機構改革により管轄設備グループとして設置されたことがあり、設備の独自性を発揮する意味でも喜ばしいこと。ところで、最近開かれた中央建設業審議会等では、コスト削減のために一括発注を求める意見が出されたため日本電設工業協会と日本空調衛生工事業協会が一括発注の弊害を説き、意見を押し戻すといったことが起きている。そうした動きに

細心の注意を払っていかなくてはならない。また、監視カメラの設置等新分野の事業に対しても、情報を交換しながら地元の方で施工していくため、努力したい」と分離発注維持のための取り組みがさらに必要であることを述べた。

木下会長は、「両会長が話されたように厳しい年の瀬を迎えている。皆さんの協力をいただき、設計積算ソフトの開発・頒布に漕ぎ着けた。現在、鋭意パー

への散水設備等について説明し、分離発注の重要性を啓蒙した状況が地区毎に述べられた。

当面する課題を検討 設備工事ブロック会議

平成十六年度建築設備工事東北ブロック会議が十二月九日に仙台市で開催され、松崎勉会長と阿部俊一郎専務が出席した。

地道に啓蒙活動を

分離発注の促進が課題

「三団体が共に発展するにはどうするべきか」をテーマに行われた懇談会では、まず、三団体の活性化委員会で作成したパンフレット「学校設備システム設計」

施工の「案内」の配布活動に関する報告が行われた。県内すべての市町村をまわり、財政当局や教育委員会に対して、太陽熱利用や教室の冷暖房、グラウンド等

二回目だったことから、認知度はやや高まってきたが、財政状況等の理由から実施に踏み切る段階にはないこと。こうした設備を現していくために、継続したPRが必要との意見や感想が出された。

試験研究機関を集約

究部門の連携により、効率

県農業総合研究センター(仮称)の整備は、平成七年度に策定された県農林水産試験研究体制整備構想と平成九年度に策定された同整備計画に基づいて進められているもので、現在、専門別に分散配置している農業関係試験場を平成十八年四月に同センターに統合する。高度化・複合化している研究ニーズに的確に対応するとともに、再編計画に基づく共通・専門・地域研

究部門の連携により、効率的・効果的な技術を開発し、農業経営の安定や農業の振興を図る。

施設用地は全体で五五・六ヘクタール。この中に本館施設(木造平屋建ての交流棟・RC三階建ての研究棟)、屋外施設(温室・調

査棟・倉庫等)、開放施設(木造展示温室等)を整備する。工事費の総額は百四十三億円。

農業センターを視察

平成16年度現場研修会開く



当協会は、県が郡山市日和田町に建設を進めている農業総合研究センター(仮称)研究棟・交流棟電気設備工事現場で、十二月六日に平成十六年度現場研修会を開催した。

全支部から会員企業の主任技術者約八十名が参加した研修会では、松崎勉会長があいさつに立ち「この施設は県の主要事業であり、建設にあたっては、地元業者活用を図ってもらうべく、当協会として宮崎県や秋田県の施設を調査し、県にレポートを提出。その

上で分離発注を要望した経過がある。発注者からは、常に技術力の確保・向上を求められていることを忘れてはいけない。この現場には、あらゆる電気設備が導入されており、十分に研修して、各社で水平展開していただきたい」と述べた。次に農林水産部経営支援

領域研究開発グループの斎藤忠弘主幹と監理を担当している土木部建築領域営繕グループの末永良一専門建築技師が、施設概要と工事の進捗状況、今後の発注計画などについて語った。そして施工を担当している(株)ユアテック福島支社(研究

棟電気工事)、(株)エディソン(研究棟火報・その他工事)、(株)郡山電機製作所(交流棟電気工事)の担当者

が工事概要を説明した。このあと参加者は二班に分かれて現場に入り、設備を見て回り、質疑応答を行った。

高藤主幹

末永専門建築技師



高藤主幹



末永専門建築技師



現場事務所で行われた施工概要説明



施工者の案内で現場を見てまわる参加者

また、「新設工事では一括だったものが、改修工事では分離されるケースが多く、そうした点も足がかりに分離発注の重要性を説明してはどうか」と言った意見も出された。

このほか、松崎会長から、個別案件に対する対応を強化する必要性が指摘され、状況に応じて三団体が迅速に対応できる体制づくりを進めることが満場一致で了承された。

資源の循環と創造

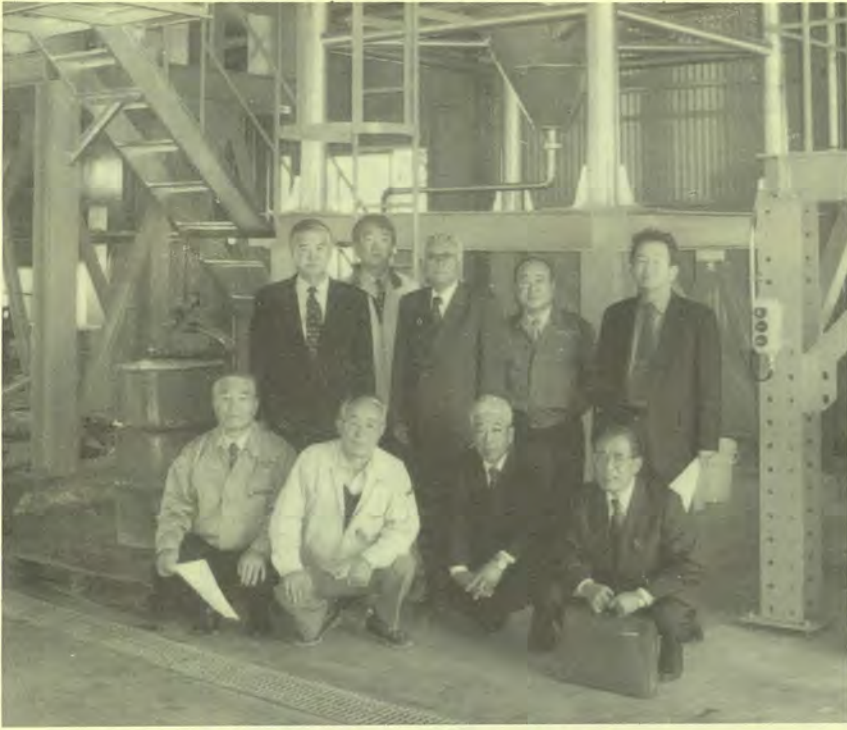
新エネルギーと技術

平成十六年度の先進地視察研修（十月二十九日）は、リサイクルをテーマに当協会いわき支部・宮野電気興業（株）会長の宮野悦甫氏が取り組む廃食用油のリサイクルプラントで行われた。技術委員会担当の佐藤脩一（副会長）、先崎元勝委員長と技術委員が参加し、リサイクル事業への取り組みを聞いた。宮野氏は、リサイクル会社であるトラスト企画（株）を立ち上げ、いわき市内のスーパリーや工場、社会福祉施設、さらに行政とも連携する「いわき食用油リサイクルネットワーク」を形成し、自らの技術力で廃食用油を精製し、軽油代替燃料や切削油、洗剤等にリサイクルを行っている。

廃食用油をリサイクル

当協会関係企業が事業展開

宮野氏は、電気工事業をとり、リサイクル事業に営むかたわら、循環型社会「取り組んでいる。社会福祉法人、リサイクルの研究を続けてきた。市場展開が見えてきたことから、トラスト企画（株）を設立し、まず「大ぶら油は石けんや燃料などとして再利用できる大切な資源」を呼びかけ人であり、事務局を務めるトラスト企画（株）は、ネットワークの要となっている。再生プラントも稼働、廃植物油回収には、いわき市民生協、（株）藤越、（株）マルトなど地元のスーパリーマーケットが協力している。



食用油再生プラントを見学した技術委員ら

様々なエネルギー展開

ソージェネとも組み合わせ

トラスト企画の食用油再生（RVO）リサイクル・ベジタブル・オイルは、専用の回収車で廃食用油を受け入れて受入槽へ。加温異物分離→エステル化反応→ラード、グリセリン分離→沈降→洗浄→静置→ろ過の段階で精製を行っている。



今後の展望を語る宮野氏

障害者施設と連携

回収した段階で、質の良い廃食用油はネットワークのメンバーである社会福祉法人に回し、障害者施設で固形石けんづくりの材料にするなど福祉分野とも連携



RVOを燃料とする専用の回収車

関係にある。その他は、精製されディーゼルエンジン（軽油代替）や切削油、農業用の定着材（油かす）、有機肥料の促進剤、液体・粉石けん等に再生している。植物油であるため硫黄分がなく、環境面でのメリットが大きい。精製後の廃棄物はほとんどないという。RVOは、東京都のディーゼルガス排出基準をクリアするというアピール

「私たちの世代は、無い無い尽くして育ってきた。戦後の物不足を経験している。高度経済成長期を経てモノが溢れる時代になったが、使えるものまで捨てられる状況でもあり、これを何とかできないか」と思っていたことが、リサイクルに取り組み動機だったと宮野氏は言う。

電気設備工事業を三十年営んできた。その傍ら、早くから廃食用油を軽油の代替燃料等に精製する技術の開発に努めてきた。こうしたリサイクル活動は広がりをみせ、ネットワークが機能し始めたこともあって、受入量五十キロリットル、一日あたり八百リットル、一日あたり四トンを精製できる食用油再生プラントもいわき市四倉に完成させた。

いわき市内のスーパリーなど量販店に回収ステーションを設けているほか、浜通り沿いでは北茨城から相双まで食用油の回収にあたり、今後は、ニーズに応じて回収範囲を拡げる構えだ。専用の回収車には、

「相双地区では、海や川の水質汚染防止に熱心に取り組んでいる漁業関係者やJC、婦人会が廃食用油の回収に協力してくれている。食用油再生の輪が全国に拡大することで、資源の再利用や環境保全の輪が加速し、より良い地域づくりに貢献できるものと確信する」と語る。平成十五年からは、経済産業省委託事業（環境コミュニケーションビジネス）に指定され、資源の有効利用と環境保全の検証を行っている。

データも出された。

この軽油代替燃料は、自社の廃食用油回収車や重機、製紙工場内で使うフォークリフトなどで利用している。また、切削油は、植物油を原料とするものとして国内唯一のもので、鉱物性油に比べて、材質が固い材料の切削に向いており、特にミスト加工では差が顕著、水溶性があることから

FA・OAのシステムプランナー
株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男
本社 〒963-8034 郡山市島二丁目44-2
Tel (024)935-1700(代)
支店 仙台
営業所 いわき 福島 宇都宮
出張所 棚倉
事務所 東京

換気扇・照明器・空調機・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島電材支店
福島冷住支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

〒971-8124

福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL (024) 581-5811
FAX (024) 581-5818

ディーゼル発電機 ガスタービン
ソージェネレーションシステム
東北ヤンマー株式会社
いわき支店



地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター
岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

営業所

白河	TEL (0248) 27-3385(代)
須賀川	TEL (0248) 72-7136(代)
賀西	TEL (024) 952-5455(代)
山南	TEL (024) 923-3298(代)
郡山	TEL (024) 939-3081(代)
会津	TEL (0242) 37-2660(代)
津町	TEL (0244) 22-5105(代)
原相馬	TEL (0244) 35-1234(代)
福島	TEL (024) 546-3700(代)
福島	TEL (024) 553-1181(代)
いわき	TEL (0246) 28-6111(代)
南来	TEL (0246) 62-3122(代)

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内29カ所
住設建材営業所 6カ所

清掃が楽で、しかも価格は半分程度の状態にまで仕上がってきた。検証試験も順調で、年内には販売経路の開拓にもメドをつけたといっている。

宮野氏は、電気設備工事に携わってきたことから、電気エネルギーへの変換にも意欲を燃やす。

軽油用発電機を活用し、RVOを燃料にコージェネレーションを組み合わせて、工場等で活用するシステムを開発する一方で、いわき市の「まほろば計画」に従い、木質バイオマスでガスを抽出し、それにRVOを助燃剤として使いカローラを安定させる取り組みは、NEDOの審査を終えた。いわき市健康センターの給湯、電気エネルギーとして活用するため、具体的な整備に入る。

「今後は、こうした電気エネルギーをバッテリーで持ち歩き、広く活用していくことも考えてみたい」と、電気設備に携わってきた人ならではの「エネルギー循環」を考えている。

エネルギーを開放した。コンテンツの作成にあたっては、広報委員会を中心に準備を進め、協会及び会員のPR、電気設備工場の重要性を啓蒙する内容としました。ご活用ください。

希望に満ちた新春を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。

また、本県の建築行政の推進につきましては、日ごろより格段の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、地方分権の推進や少子高齢社会の到来など、社会情勢が大きく変わりつつある中、環境負荷低減や、多様化するライフスタイルや住まい・住環境、公共建築に求められるニーズへの対応など、これからの建築住宅行政には様々な役割が期待されております。

このような背景の中、平成十七年は次の視点から建築・住宅・営繕の各行政を推進し、県民の多様なニーズに対応した良

質な住宅・建築ストックの整備に向けて努力してまいりたいと考えております。

まず、住宅行政につきましても、平成十七年度を最終年度とする「福島県第八期住宅建設五箇年計画」に基づき、引き続き「ストック重視」「少子高齢社会への対応」「中心市街地居住・地域活性化への対応」の四つの柱で施策を進めてまいります。

また、今後の住宅政策につきましても、社会経済情勢の変化等に対応するため、昨年より見直しに着手したところであります。

見直しに当たっては、「県営住宅の今後の在り方」の一質の高い公共性を有する民間活力への支援「民間住宅市場の活

性化に向けた誘導」等の課題を重点に、国の動向を見ながら、現在検討を進めております。検討結果については、速やかに施策へ反映するとともに、次期「県営住宅マスタープラン」や「住宅建設五箇年計画」にも反映させていく考えております。

また、厳しい財政状況に対応した施設整備手法への転換を図り、従来から実施している共生のまち推進事業や県有施設冷房設備整備事業等に加え、全庁的な取組みとして、既存施設の有効活用（ストックマネジメント）の考え方による取組みを進め、「永く生きる建築」の実現に向け、更なる努力をしてまいりたいと考えております。

一方、整備の計画につきましても、県有施設の木造化、木質化の推進を図り、全ての営繕工事において一級技能士の適用を可能とするなど、地域の優れた人材及び資源を積極的に活用することにより、地域経済の活性化を図る「地産地消」を推

進するとともに、県有施設の質の向上や建築技能者の技術確立に寄与してまいりたいと考えております。

また、技術革新のより一層の高度化、複雑化に的確に対応しながら、太陽光発電や風力発電などに代表される新エネルギー、省エネルギー技術の導入、CO2発生量の少ない工法の採用など、建築物のライフサイクル（建設、運用、解体）を通じてCO2発生量の抑制、環境負荷低減を図る「環境配慮型県有施設計画・設計指針（仮称）」の策定を進め、環境負荷の少ないライフスタイルの実現に向け、努力してまいります。

さらに、すべての人にとって安全・安心で利用しやすい公共建築物の整備を促進するため、「公共施設ユニバーサルデザイン指針」を、パブリックコメントを実施しながら

最後に、地方分権時代を迎え、今後の住宅・建築・社会資本の整備は、真に地域に必要なものを県民の皆様とともに考え、ともにつくることを念頭に、「安全で安心できる生活環境づくり」、「個性と魅力ある美しいまち（地域）づくり」の実現を目指してまいりますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

県土木部建築領域 平成17年の事業展望

地区が財団法人ふくしま建築住宅センター、県中地区が特定非営利活動法人循環型社会推進センターにより、全国初の公募での指定管理者による公営住宅の管理が始まることとなっており、

また、厳しい財政状況に対応した施設整備手法への転換を図り、従来から実施している共生のまち推進事業や県有施設冷房設備整備事業等に加え、全庁的な取組みとして、既存施設の有効活用（ストックマネジメント）の考え方による取組みを進め、「永く生きる建築」の実現に向け、更なる努力をしてまいりたいと考えております。

また、整備の計画につきましても、県有施設の木造化、木質化の推進を図り、全ての営繕工事において一級技能士の適用を可能とするなど、地域の優れた人材及び資源を積極的に活用することにより、地域経済の活性化を図る「地産地消」を推

進するとともに、県有施設の質の向上や建築技能者の技術確立に寄与してまいりたいと考えております。

協会の動き

- 【12月】
- 1日・第5回広報委員会（いわき市）
 - ・福島タイムズ（新春座談会）に会長が出席（福島市）
- 6日・第4回技術委員会（郡山市・県農業総合研究センター）
 - ・平成16年度現場研修会（同）
- 7日・相双支部例会、懇談会（相馬市）
- 9日・建築設備工事東北ブロック会議に会長と専務が出席（仙台市）
- 10日・設備三団体懇談会（福島市）
- 14日・県営繕担当職員との技術研修会第3回事前打ち合わせ（協会）
 - ・福島建設工業新聞社座談会に会長が出席（福島市）
 - ・いわき支部忘年ゴルフコンペ、懇親会（いわき市）
- 15日・協雅史の国会報告会に会長、福島支部長らが参加（福島市）
 - ・自由民主党県連合会幹部との懇談会に会長が出席（福島市）
- 20日・12月度会計審査業務（協会）
- 21日・会津支部例会（会津若松市）
- 22日・県営繕担当職員との技術研修会（郡山市）
- 27日・会長、大槻副会長、専務が年末の挨拶まわり（県庁）

ご意見をお寄せください
社団法人 福島県電設業協会
 〒960-8714 福島市松浪町9-6
 TEL:024(533)6226 FAX:024(533)6235
 E-mail:fukudensethukyo@syd.odn.ne.jp
 http://www.fukudensethukyo.or.jp

当協会は、一月十日からインターネットにホームページ開設
ホームページ開設
 協会の活動を広く紹介

KOTO
安全と快適を求めて。

交通管制システム/道路気象観測システム
 交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL.022-225-7501 FAX.022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
 福島営業所 所長 高橋 實

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
 TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
 支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
 工場/山形・北海道千歳

配分電盤メーカー

営業品目 屋内外キュービクル・高低圧配電盤
 各種自動制御盤・各種分電盤

KATEX
電機事業部
加藤鉄工株式会社 (旧 福福電機製作所)
 〒960-8001 福島市天神町10-41
 TEL 024-534-1528(代) FAX 024-533-8590
 本社/〒960-8201 福島市岡島字作田入1-2 福島工業団地
 TEL 024-534-2111 FAX 024-533-7155

つづく未来につづけるエネルギー

- ◎自家用発電装置・CVC F発電装置
- ◎設計・販売・据付・保守点検・整備
- ◎コージェネレーションシステム
- ◎直流電源装置・バッテリー交換
- ◎負荷試験・保護継電器・絶縁耐圧試験

株式会社 機電エンジニアリング

〒963-8845 福島県郡山市名倉247番地の1
 TEL 024-946-0094
 FAX 024-946-1394
 http://www.kiden21.com

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
 ●入退館システム

■東北支店
 〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
 TEL (022)261-8371(代) FAX (022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
 郡山支店
 支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
 FAX (024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
 仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
 支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

現場での課題を協議

県営繕担当職員との研修会



ビッグパレットで開催した3回目の研修会

若手技術者集まる

当協会は、昨年十二月二日を開催した。十二日に平成十六年度県営繕一昨年度より、開催して

りがとうといわれた電気工事」をテーマにすえた。県側から十名、当協会から十五名の若手職員・技術者が出席した研修会では、先崎元勝技術委員長が「大変忙しい時期にも関わらず、こうした機会を持てたことに御礼申し上げる。建前論ではなく、現場で実践していることをベースに率直な意見交換をしていただきたい。そうした成果を現場に反映させて、より良い電気設備ストックの構築につなげたい」と述べた。

このあとは県土木部営繕設備グループの野崎伸吾主任と(株)山電製作所現場代理人の加藤和彦氏の司会で進行され、まず野崎主任が身近な建築設備を例にとりながら、疑問点や改良点をあげて、話を誘導した。出席者は、建設リサイクルの進め方や現場での管理

等について、質疑を行った後、工期の調整等要望・提案事項に関する協議、さらに施工現場での失敗例、成功例を発表し、工夫点や改良点等について熱心に意見を交換した。

研修会開催までに、数回の準備会を行ったこともあって、論議の整理が進み、日常の業務にフィードバックできる成果も生まれ、大変意義のある研修会となった。

新たな年を迎え、お慶びを申し上げます。今年も、西暦・今年こそは飛躍の年として羽ばたきたいと思っております。

昨年、「災」の漢字が一年を象徴するように、災害・震災・震災など、たくさんの災いが生じた年だったと思っております。今年も、西暦にちなんで災いを振り切るように羽ばたきたいものです。

会津は真冬に入り、二月までは雪の中。人も仕事も沈みがちな季節でもあります。

しかし、会津と言えども本酒。今、焼酎が流行している中で、日本酒も呑みやすく味の良いものも多く出ています。雪の中で、日本酒を飲み交わす情緒がとても良いものです。やはり酒は、酔っぱらうものではなく、楽しく心を豊かにするものです。今も、スナックやクラブよりも古い居酒屋に人が集まっています。居酒屋のカウンター席で隣に座った見知らぬ人と話したり、店の旦那さんと世間話に花を咲かせたりして、心も体も豊かにしているものです。

昨年十一月から発行されている新千円札に野口英世博士が起用されまして、その恩恵なのか、猪苗代町の野口英世記念館の前は、いつも観光客でいっぱいです。会津若松市内にも野口博士が三年間勉強した「會陽病院」があります。現在は、コーヒーストップ「壺番館」になっており、市内を探索する人達にとって一服する場になっています。一度、会津に足を運んでみましょう。

平成17年 年男・年女

一年のご活躍を祈念します

- ▽仁井田勝栄(郡山支部・(株)ニイグテック) 昭和20年10月22日生
- ▽中島朋康(白河支部・福島電設) 昭和32年7月13日生
- ▽浜田和夫(いわき支部・クレハ電機) 昭和20年10月16日生
- ▽中島淑弘(会津支部・(株)富士工業商會) 昭和20年5月30日生
- ▽渡部キチエ(会津支部・(株)南会小松電機) 大正10年4月22日生
- ▽梶原寿昭(員外監事) 昭和8年9月5日生

編集後記 新田一則

高効率、高演色、省エネのセラルクス!!

セラミックメタルハライドランプ CERALUX

70W-150W-250W-400W

岩崎電気株式会社 http://www.iwasaki.co.jp/

郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに二〇〇五年の新春を迎えられたことと慶賀に存じます。

旧年中は本県建設産業の振興発展に尽力賜り、感謝申し上げます。さて、昨年の我が国経済は、海外の好況に支えられ、製造業や先端産業等の都市部大企業等が好調を維持し、月例経済報告において景気は回復しているとの基調判断がなされました。地方においてもこうした動向に影響されて明るさが見られるものと大いに期待を持ってのんびりしていますが、大都市と地方の格差は拡大する一方で、加えて地方中小建設産業は建設投資の大幅減少により、厳しい

対応を強いられた一年でありました。また、原油の高騰、地方における需要の低迷、過去に例のない十個の大型台風が上陸して被害をもたらした。十月には、新潟県中越地震の災害が発生するなど、不透明感の払拭できない一年でもありました。

特に建設業においては、不況産業の代表的なものと言って過言ではない。全体の建設投資もピーク時の六〇%に落ち込む中で、本県内の公共事業費についてもピーク時の平成十年度に比べ、平成十六年度当初予算は、成十六年度当初予算は、マイナス六〇%という短

きた社会的責任を果たすため、地元建設業は再生や再編に向けた取り組み、新しい事業の核を求めての取り組み等、構造改革に真剣に取り組んでおります。平成十六年度は、県の建設業新分野進出等支援事業を創設して頂き、三十社が参加し

建設業協同組合による訪問介護員養成事業や再生・再編を含む各種講習会の開催にも引き続き取り組んでまいりました。本県は首都圏に比較的近いことや、自然環境、歴史文化等にも恵まれ、加えて人材や社会資源等も豊富であることから、経済・産業活動、文化・学術的活動、快適生活探求といった各側面からも大きな可能性を持つ地域であります。県勢要覧によると平成十五年観光客入込総数が、四千三百三十一万人に上っているわけですが、こうした人々の一層の交流促進、地域間ネットワーク形成、更に若年者の定着促進のためにも道路網や下水道施設、心身の安らぎや社会福祉のための施設等の整

備、災害に強い安全・安心な県土づくり等に計画的、継続的に取り組むことが重要になっていくと存じます。地元中小建設業は、これからも雇用の確保、地域経済の伸展に寄与するとともに、消費者の立場から循環型社会を考え、県民の健康寿命の延伸、安全安心のため一丸となって努力していく所存であります。そのために、地産地消による地域連携等、商工会議所連合会を始めとする経済団体等と連携を密にし、関係機関のご支援を頂きながら努力してまいりますので、今年もよろしくお願いを申し上げます。

年頭のごあいさつ

社団法人 福島県建設産業団体連合会 会長 佐藤 勝 二二



電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部	福島市置賜町1-29	☎(024)528-9366
福島事業所	福島市泉字南谷地5-6	☎(024)557-2161
原町事業所	原町市上淡佐字原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町稲川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡田島町大字田島字大坪490-1	☎(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市大字西川字後田78-5	☎(0248)72-9120

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11アレーザ仙台ビル	☎(022)261-6015	
福島県支部	伊達郡川俣町坂字戸ノ内5-3	☎(024)566-3087
福島電気管理センター	安達郡安達町油井字深原町42	☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター	郡山市日和町字日向84-5	☎(024)958-5203
会津電気管理センター	河沼郡河東町大字谷沢字十字53	☎(0242)75-2518
相双電気管理センター	原町市仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3	☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター	いわき市平字堂ノ前18	☎(0246)21-9828

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器 電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13 TEL(022)783-8181

- 福島営業所/福島市瀬上町字桜町3丁目12-3 ☎(024)553-8551代
- 郡山営業所/郡山市大槻町下町東52 ☎(024)961-6667代
- いわき営業所/いわき市鹿島町御代一田1-1 ☎(0246)76-1055代
- 原町営業所/原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106代
- 相馬営業所/相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350代

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社 東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL(024)553-4165
相馬営業所	TEL(024)553-4165
開閉営業所	TEL(0244)36-8901
郡山営業所	TEL(024)934-3065
白河営業所	TEL(0248)21-0360
いわき営業所	TEL(0246)75-0700

技術と信用を誇る 電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

(販売元) 大然総業株式会社 (製造元) 大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番8号 TEL(022)288-0701代 FAX(022)288-0705